

書案十一件を審議しました。その概要を紹各会計決算認定など市長提出議案四十件、 第三回定例会 を 九月 日から二十七日まで開き、 要を紹介 議会議案二 ま す 令 和三年 意 見度

第 1 9月1

名しました。 での二十七 開 会宣告後、 三人の会議録 曽 根 議 日 長 間と 会期を二十七日ま が第三回 署名議員を指 することを決 [定例会の

など三十一件の議案を上程し、 年 塚副 度 次に、 前 市 橋市一般会計決算認定 市 から各会計決算認定 長提出 [議案 「令和!



らその れ説明がありました。 十一人の議員が総括質問を行い 〇第2日 長や所管の部長などがこれ 上程中 他 の議案につい . の (9月8日 議案や市政に 対 L 13

〇第3日 (9月9日

答えました。(総括質問

の

変旨は

4%~~10%~に掲載)

総括質問を行いました。 前日に続き、十二人の 議 員 が

採決を行 三議案に対 ては更に詳しく審査するため、 共産党市議 略した十九議案について、日本 各常任委員会に付託しました。 会計決算認定議案十二件につい 次に、上程中の議案のうち各 般会計補正予算」など 委員会への付 団から「令和 する反対討論 全て原案のとお 四年度 託 の後、 を省 1)

議案について、 てそれ

所管の 各部 長 か し出

常任委員

決算認· しました。 可決及び認定すべきものと報告 いい 定議 て、 各委員長がい ずれ

及び認定しました。 を委員長報告のとおり全て可 り、採決を行った結果、 公明党市議団 前 市 橋高志会、 議団から反対討論、 [から賛成討論 市民フォーラム、 日 前 橋令 全で可決 があ 明

名 は 11 を行った結果、 長提出追加議案を上程 可決しました。 次に、人事議案

17 て、 橋市 規則 て」を上程し、 賛成全員で可 議会傍聴規則 の改正につい 議会議案 採決を行 前 の改正及の改正及の改正を 決しま

遣 県外先進 件を議題 とし、 調査 0 申た

〇第4日 (9月27日

のとおり承認

員

て、 派

(会に付託した各会計) ŧ

委員長報告の後、 本共産党

った結果、いずれも同意及出追加議案を上程し、採決11%-に掲載)など九件の市に、人事議案(件名及び氏

った結果、 いつ

可決

しました。

(議決結果は

11

感染症 関係行政庁に提出しようと 可 充を求める意見書」など四 の結果、 意見書案十一件を上程し、 民 の公益 の要旨は12%~に掲 決しました。 対 策に係る国庫負担の拡 に 新 型コロ する (可決した意見 ナウイ 載 を て、 玉 作を 採決 ル す ス



須賀博史議 れました。 員 須賀副議長 が 辞職願が提出さ続いて、鈴木数 を行った結果、 副 議長に選 出さ

第三回定例会は閉会しました。 最後に、議長から挨拶があ ŋ

派 別

型コロ ⑨機構改革 決算⑦スポー 事業③めぶくグラウ り②まえば 前 レミアム付 マイナンバ ンデザインファ ナウイ し暮ら 10 (13) 商 ッ 振 1 地 力 ル 地 品 1 ス感 (16) 域 前 **⑥**令 ンド ド O興 橋 テッ ンド を 染 諸 8 0) 和三年 まち 7 (14) 症 4 ク推 対 題 こさ対 た保 アー 策 (11) 行 (5) (12) 新 政度

ド

促

▲議場で多くの議案を審議

施

策

0

令和3年度各会計決算

歳

入

332億4,883万円

243億4,537万円

12億7,824万円

325億656万円

1億5,374万円

8億9,282万円

969億8,840万円

75億4,797万円

収 入

5,302万円

45億982万円

歳 出

325億3,506万円

240億9.400万円

12億6,811万円

320億9,349万円

1億3,968万円

支 出

836万円

45億196万円

1,666億389万円 1,616億4,182万円

会 計 名

特

別

介

般

会

国民健康保険

後期高齢者医療

農業集落排水事業

護 保

母子父子寡婦福祉

資金貸付金 新エネルギー発電事業

用地先行取得事業

産業立地推進事業

計

事 業

合

会 計 名

企水道

業

任

員

長

計

輪

険

デグ② 農 バ政地策浄況 間 金へ 住 油 地 ン 状 域 (5) 化 2 ベ 価 前 ル ま (19) \mathcal{O} ウ 格 \mathcal{O} デ 況 防 セ 予 実 新取 ク 高 適 ザ 8 災 ン 算 証 企 20 前 組 正 7 ラ 夕 1 教 O志 ブ 橋 (18) 利 コ 執 口 <u>\f\</u> シ 対 育 1 駅市 ナ 用 基 ジ 地 エ 策 行 口 更 行 斎 支 ナ 避 新 (12) 金 エ 場 政 状 0 援 公 禍 況 ク 推 サ 条 (9) 難 事 本 自 \mathcal{O} 粛 例 業 進 1 前 に 民 市 а 転 金 (3) 事 お 前 S (14) $\widehat{(10)}$ 橋 \mathcal{O} (4) (24) ク 重 設 \mathcal{O} 農 移 業 税 け 現 財 共 ル 市 橋 使 0 通 業政 る市 状 取 住 (13)制 水 政 創 行 用 P 燃] 組 定 (6) 質 状 コ 空 (11)料

> 策 価

(10)高

デ

ジ

夕

ル 費

田

袁

都 対

市 策 策 \mathcal{O}

玉 (9) 展

家

構

想 対 物

料 13 6 安 文全な

防

災

]

症

対 安

策 ì

本

市

職 ま

員

づ

1)

感

把

基

ーづく

施

開 き

8 方 (5) (7)

(4)

五策 2 市 工 民 ネ フ ル オ ギ] ラ 価 4 格 高 (1) 騰 空 - まえば き 3 家対 $\overline{}$

 \bigcirc

ゼ

口

力

ボ

シ

テ

イ

設 策 バ ク 相 化 情 コ Θ (13)Ι 0 推 健] 口 民 本 C \mathcal{O} (3) 共産 ナ 間 玉 康 力 進 旧 力 ゥ 葬] 事 統 活 長 Ź 条例 党 K 業 (5) 力 寿 F, 普 \mathcal{O} ま 教 ル 導 市 0 え 会問 0) 及 問 ス 入 活 ば 感 題 \mathcal{O} 廃 \mathcal{O} 寸 用 問 問 止 点 し 題 染 (12) 方 題 6 暮 4 症 題 1 感 点⑦ 点② 公共 針 マ 5 安 対 染 イ 倍 策 0) L 症 撤 個 ナ テ \mathcal{O} 新 施 対 元

7

П

政

公 交 付 明 党市 金活 用 議 に 寸 ょ る支援 (1)地 方 策 創 2 生 地臨

> 域 策 ど 活 ŧ 動 支 子 (3) 育 本 支 市 援 \mathcal{O} 事 + 業 圳 利

例 前 (5) 1 コ 難 社 ま ア ン 会 ほ 橋 口 3 フ ナ 参 市 物 3 ゥ 'n ル 価 加ば 前 工 1 高 支 騰 援 バ 橋 ル ザ لح (6) ス (2) 膧 デ \mathcal{O} 感 市 防 S 害 ザ るさと 同 染 災 者 民 イ 時 症 生 減 流 لح 活 高 季 基 災 納 行 (4) 齢 金税対節新 کے 者

性 型 避 0

策 え 2 七 3 学 星 61 校 ま め え 部 (1) い ば 活 新 (1) 動 L 暮 産 \mathcal{O} 17 業 5 地 価 政 域 し 値 テ 策 移 \mathcal{O} 2 ツ 行 創 ク 農 造 推業 都

> L 部

市

進 な 鉄 0 な 利 61 用 3 活 性 対 子 供 策 (3) 権 ば 利 5 2 袁 上

事 業

毛

8億8,563万円 955億2,629万円 96億7,373万円

下水道事業 100億4,379万円 121億2,863万円 会 計 合 計 175億9,176万円 218億236万円 ※金額は1万円未満を整理しています。 ※水道事業・下水道事業の支出は、現金支出を伴わない減価償却費等 を含んでいます。

内

は な

主

七

⑤子 用 供 ④

2 中赤 心利 市根 街 地 1 3 新 文 し 化 17 芸 価 術 値 振 0

創

造

興

るこ 議 宣 n 七 لح 員 告 ま 月 を指 i を し た。 決 た + 後、 め 五. 日 ま 三 曽 に 人 期 根 臨 た。 0 を 議 時 会 会 長 議 日 が が [とす 開 招 録 会

を

名

た。 長 市 年 次 が 長 度 提 提 前 橋 出 案 議 市 理 議 案 第 由 案 般 を \mathcal{O} 会計 上 + 説 明 程 七 補 を 号 正 行 予算」 財 令 61 ま 務 和

の四

成 か疑 結 果 時 討 5 に そ \mathcal{O} は 会 反 続 論]] ジペ 後、 対 は 案 が 17 閉 Oあ討 て、 り、 に と 五. 論 会 掲 お 日 人 し 載 り 採 前 本 0 ま 可 決 共 橋 議 L 決 を 令 産 員 た。 行 明 党 か 市 か 5 つ 議 七 5 議 0 結 賛 質 月 決 4

$\boldsymbol{\mathsf{H}}$

誌

開 会 月 催 議 か は 5 次 九 O月 で す لح ま お で に り で 開 す 催 0 た

委 済 教 査 員 常 育 本 別 会 会 任 福 (3) 議 各 委 委 祉 (5) 派 員 員 常 代 会 Ι 会 任 (3) 総務常 表 C (1) 委 者 Τ 員 利 建 議 会 任 (3)会 便 設 委 運 性 水 (5)(員会(3) 市民 営 向 道 委 常 正 上 員 調 任 経

日本の漫画は広く海外で

ぶくグラウンド

横山 勝 彦





の給食費の

充足状況と今後の保

したが、

現

る

の

か伺

い

ま

(1)

整備

につ

7

は、

者負担の見込み

を

伺い

理

として継続

的 11

 \mathcal{O}

伐

る法人なの となり、 **ぶくグラウンドについて、** 民連携により設立する法人、 づくりを推進する法人組織を官 連携基盤を活用して市民のまち ことですが、何をなりわいとす は設立に当たって発起人の一人 であるまえばしID 本人認証 現金を出資するという か伺い のための ます。 やデータ 共通 本市 め

単なる利益追 えばしIDとデータ連携基盤 展開に必要なシステムとなるま 寄与する法人として設立を検討 目指 えばし暮らしテック推進事業の に 市 た 来的には、 0 してお なるために、 民 め 発展を支える法人として、 理運用を主要な事業とします。 若者 の暮らしがより便利で豊か に す共助型未来都市の実現に めぶくグラウンド . り、 活用 を活用したまちづくり 題 業を展開 を解 0) でする事 定着支援など地域の 収益を起業や創業支 各事業者のサービス 決するサー 求型ではなく地域 デジタルの力で する予定です ,業を実 は、 ビスの が施し、 将 ま \mathcal{O}

> まえば 44505 活用したパンフレット

読まれ、 伺います。 づくりやにぎわい創出を検討し てはどうかと考えますが見解を アニメを活用した魅力あるまち 化の一つです。 今や日本を代表する文 本市でも漫画や

については今後の物価上昇や社

向を注視しながら検討し

ます

勢を見極め、

国の交付金の

ことができました。

保護者負担

いて検討してい

ます。

0)

幅が広

がり献立

|を充実させる

キュ

場などの

試

験的

にな運

てい

ます②

一食当たり三十円を

きるよう準備を進めたい

のうえ、

移

転新築工

に着手で 心を取得

いては、

と考え

トド

ア施

設 丰

の提 ャンプ場

案が多くあった

物などの

アウ

·度以

適正

な土地 一事に

> 実施 どを

する予定です

②利活用に

1

東部

共同調理場

は ま

令和 ਤ ਰ ੂ

進

かて

おり、

令和 に杉

四年

度 採 公

上乗せしたことで、

食材の選択

しの良

17

景観

を生

一かしたバーベ

ことから、

西側エリアの

見晴ら

には や民間企業との連携による方策 れますが、 やアニメを活用したまちづくり とは大変重要な視点です。 りやにぎわい創出に活用するこ 検討も必要であると考えま 一定の効果があると見込 漫画やアニメをまちづく 既存の図書館 0) 充実 漫 す ま 画





阿部 忠幸



共同 令和四年度に給食費を一食当た り三十円の値上げを行い、 部共同調理場は 鼠 の 共同調理場整備方針と給食費 影響を勘案し保護者負担分 |調理場の今後の整備方針② 事中ですが、 学校給食について、 八年かけて延命 次に古い 1 東部 西

さんぽ道と大胡ぐりーんふらわ=牧場

うに考えているの の関係にある大胡ぐりーんふらとですが、①さんぽ道と不可分 度に実施したサウンディング調 わー牧場の整備につい ど整備が進められる計画とのこ 道は土地の取得や舗装の実施 (問) 花木農産物直売所さんぽ の結果を踏まえた利活用につ 大胡ぐりーんふらわー牧場 現在どのように進めてい か②令和三年 てどのよ





えま 減の取組の一つとして、 代に合った取組ではないかと考 ラインで開催することは今の A連合会が実施する会議をオン 問〉PTA活動の会議負担 オンラインによる会議の開催 すが、 見解を伺い ます。 市 P

な

市 P T えます メリットとデメリッ 負担などの対応が求められます。 会長の負担 とで会場 ることができ、 答 オンラインを活用 A 連 の調 0 てい 合会と 達 ネット 軽 や 減に結びつくと考 移 きま 各学校 配 動 信に 連 環 時 トを踏 携 境 間 で短縮 を 伴う経費 0) に対応す P T A するこ まえ、 り す

サッカー ズタウンF地 場周辺道路計 区 北 の

令和4年11月号

めて整 は、 が、今後の整備方針を伺います。 態に 東側道 スケジュー 定 て市が整 サッカー 雑草が繁茂 です ズタウン会館 中 な 東側に ってい てたいと考えています。 通 備 サ 線 場施設の建設に合わせ 西 は との ル ツ 側 すると聞いています 接 に 力 12 幅 ま はする南 合わせて整備計 1 歩 員は十二メート ま 交差点から東ロ 管 ਰ * での区 場 道を設ける予 理が難しい状 が 施設の工 この 北 装されず 公画を含 0 たび、 道路 事





堤 前橋 守明 法芽

の対 七 で の対応②令和三年度の合同点検 す が、 0) 期に対応してほしいと思いま など 策実施率について伺います。 7 危険箇所などの改善要望 学路の安全対 ①通学指定された学校ま 通学路の安全対策に ①指定学校変更の要望 離 7 0) 0) 理 他 由に 実施 ま 保護 家庭や身体的な す 者の 応じ (2) \mathcal{O} 箇 実 施 相 て基準を 所 談に は 率は 合和約に随 っ

> だするよう働きかけ 橋テルサの活用 7 ま ふす。

> > 員

を

ス

は、

本

P

隣

村

を

つ

、よう

行

県

13

a S

に情報 のか② という提案になっています。 情報発信 ジタルグリーンシティ にリニューアルし、 などの技術を組み合わせて市 ィットネスとプールは、 知不足とは考えていません②フ える数の問 の活用の提案について伺い 者でした。 て優先交渉権者が決定し 答 快適な生活形成に役立つ施 事業提案型公募の 1 前橋テルサの活用)既存のフィットネスなど 発信した結果、 市内外を問わず積極 できる機能を新設する ①周知は十分だった い合わせがあり、 ホ 応募は 想定を超 を体 Ι ルはデ ま に ます。 Ο 向 設民 Τ 周 的



新井 美



ついて伺います。していますが、当 していると認識しています。児期にわたる総合的な支援を実施 童福祉法の も家庭センターの設置を国は 問 こども家庭センタ 本市は妊娠期から子育 部改正では、こど 当局の考え方に 示

援機 サ ポー 能 に加え、 からは、 1 プラン作成、 支援対 本 市 象 0 ふ者ごと 統括 相 談 支

年

度

ŧ

7

係

関

らの が示されてい がが 体的 力 説明 支援 · と 保 などを参考に研究し 産 を実施 ます。 や子ども 師 が することなど 滴 今後、 切 に連携 に対する 玉 7 か

ヤングケアラー対策

えてい 士と勉 生徒 ていくことを確認しました。 方法の共有を図り、 づくりを 用や本音を表現できる相談体 月実施する生活アンケー 制の状況につい えた対応②部局横断的な支援 いて、①アンケート結果を踏 問 組み合わせに を早期に発見するため、 ヤングケアラー ①支援を必要とする児童 ま 強会を持ち、 す②関係課の社会福 進してい て伺い よる支援を きた 既 連 選携や支援 -対策に 存 ま にいと考 サー トの活 ਰ • 制 毎 祉 体 #



鈴橋令 数崩 成



想推進交付金について、 なったデジタル田園都· と前橋市が協力して事業を進 間 域 群 の 馬 てい M 県が申請 a a ますが、 境構 Ų 今後の取い、群馬県部市国家構 築

つい 交通 て伺います。 の幹線軸となる鉄 道

いきたいと考えています。 中 心 児 祉 ケー ス 環境 する 化 7 ま

くことにより、 るものと考えてい 17 群馬総社駅整備の地元説明 った施策効果の拡大に 及び公共 を構 交通 す る 交通 取 0) ・ます。 利 組 便 を 再

性向上と

つ

なが

編 進

0) め а

有効

てい

域へ事業の進捗を説明してほし きいと考えてい 口開設に伴う地域への影響も大 地元にとっても関心が高く、 え方について伺います。 いと考えていますが、 群馬総社駅周辺の ます。 当局 早期に地 整 の考 備 を 西

確認 バリ 協議 業進捗に 以 を実施したいと考えて 性向上を図 〈答〉 JR東日本高崎支社 ませ では、 l アフリー化 ん。 地元 てい つ 令和四 ます |る必 老朽化に伴う改 説明会を実施 て地 要があ など、 が、 域へ 年 令和元年 度 中に 駅の 0) ることを できて ま す。 利便 築や は と の



笠原 前橋高 志会

市 債残高の状況

ても、 と考えますが 問 ために市債は貴重な財 限られた財源 市 政を着実に前進させる 将来世代への負 の 源である 中 に あ

ド

7

などの

呼び

か

け

Ŕ

り、

地

力を得

ることは

報まえばしにおいて ップによる浸水想定

ます。 今後の市 減については継 債を発行していく必要があり 政負担の増 当局の見解を伺い も 1 債発行の考え方につい 市 であ ります。 債残高の状況認識② 加に留意し る 続的に ます。 取 しつつ、 しながら い組む

算に 努めたいと考えています。 どめることを基本とし、 対 ざまな指標の ランスなどの市債に関するさま 続 残高 本 来負担とならない 額を基金償還額の範囲内にと 象事業を厳選した上で市債発 しています②プライマリーバ き縮減に努めていくべきと認 市 おい の市 で ①人口一人当たりの市債 他の中核市と比較すると、 ても多額であり、 債残高は令和三年度決 動向を注視しつつ、 市 ・債発行に 過度な 引き

災害に対する対策は

設立 ① 命 防災活動が効果的と考えますが、 めには地域住民による組織的な 適切な行動ができるようにする には日頃からの備えが必要です。 状況について伺います。 を守る対策②自主防災会の 被害を最小限に抑えるた 含書時 市民一人一人が

債残高の縮 会訓 守る行動が取れるよう発 いて、 する知識や命を守る行 に対する備 まえばしCITYエフエ 立されています。 七月時点で二百四十 るよう進めています②令和 の防災アドバイザー います。 譲などに派遣 更に、 えなど、 期 防災危 に合わ し、

-を 自

主 管 信 が

防 理

機

課

災害に

対 災

動

を学べ



橋高 志 会



での 方改革について、本市のこれ 問〉公立学校での先生の 先生の働き方改革の 取組を伺います。 取 組 働 ま き

や学校行事などの精選、 講師や校務補助員などを配 なことに ステムの導入、校時表 てきました。 答 中学校部活動の地域移行 事業として、 パーレス化 まえばしスクールサポ 取り組んできてい また、 小学校教科指 など、 校務支援 の見直 さまざま 会議 、ます。 置 0 シ

先生の負担軽減②どのような 移行が検討されていま として、中学校の部活動 先生の働き方改革の すが、 の 地 1 域 環

部活動に打ち込む生徒

市

命 し

を

7

せ 民

た災

害

4

に

お

ついて、当局の見解を伺います。 に注視して検討していくの か

七組織

が 匹

年

進めたいと考えていま 域の声を大切にしながら検 費用面、スポー 保険料や指導者 生まれると考えます②傷害保 保でき、 また、プライベートの時間 が大幅に縮減されると考えま 答 会の ①勤務に拘束され 確保に 気持ちの うい ・ツなどに親し \wedge 、の謝金 て、 面でも余裕 す。 家庭 れる時間 などの 討 P が確 す。 地 険 む

き込 いて、教育長の見解を伺います。 校が地域の協力を得ることにつ 足など、地域側の現状を考える 問 学校と地域との関わ ますが、自治会のなり手不 んで解決していこうと考え 国は地域や保護者なども 先生の働き方改革に い課題とも思えます。 域には学校 育資源がたくさ 内だけでは つ 学

> どを通 学校が主体となって 後も協 子どもたちにとって大 過度な負担とならない いことだと思い 育活動を支援してい して地 力体制の仕組みづくり 域と関 ・ます。 わりながら、 きます。 取 いよう、 皆さん り 変意義 組む \mathcal{O}



山田 秀明 前橋高志会



秀明

②放置されている農地への 外に利用されている場合の対応 ていますが、この結果把握され た①資材置場や駐車場など目的 本市では農地パトロールを行 農地の適正利用 正 につい 対策

問

地の

適

申請 用につい 答答 者などに 是正をお願 有者へ使用 た特別調 箇 連 たいなどの 所の現地 など、 0) 委員を 導 ①農業委員会に 許 を行ってい 査 対 ては農振 可 確認 いし 7 通 申 関 内容などの 班により、 係 請 がする法 て当該 農地 てい 調 望 などについての います。 法に が 査 ます②所有 と、 あ 利 るか 農地 令に 違反 設 係る除外 用 聞 違反転 き取 け 最 土 を貸 適化 係る (転用 地 5 れ り 所

油 新型コロナウイルス感染 価格 高騰対策支援

について伺います。

準額 施設 用した燃油価格高騰対策支援金 対応地方創 について伺います。 の数③交付に当たっての基 ①概要②対象となる 生臨時交付金を活

染症 所については車両一台当たり一 デイ ます②介護分野では六百十九事 社会福祉 両 Oることを目 より経 を交付したいと考えています。 ンなどの . ては車 所、 の燃油代 0) 訪 ビスの安定的な提供を支援す 通院介 サー 事業所を見込んでいます③ 問 の影響や燃油 ①新型コロナウイ プホー 障害福祉分野では二百四 または利用者の 員による利用者の居宅へ 両 ビスなどの通所系事業 施 的 一台当たり一万千円 問系事業所や特別養 ヘルパーステーショ 高騰相当額を支援し 助 的とし、 設などに対して、 な影響を受けている ムなどの施設につ などに使用する車 価格の 利用者の送 医療機関 の高騰に ・ルス感 サ

角田 修一

電力データによる空き家調査 囲に限定して運用される限 電力デー 空家特措法に基づき必要 タの活用につい

> 電気事業法上の問題は の見解を伺います。 よる空き家調査について、 ことです。 ては 電力データの活用に 個 人情報保護 ないとの 法

> > などの

35

有償 検討していきたいと考えます。 査費との比較やデータの活用方 家の判定にたいへん有効ですが 他市の状況などを踏 ですので、 電力デー タの 空き家の実態調 活用 まえて は

問〉エネルギー価格の高騰や 税収を踏まえた本市 の財政

宿泊

療養施設の調整に時間を要

調整につなげています。

税収を踏まえた本市の財政につ いて伺います。 いかと懸念しています。今後の の経済にも影響が出るのではな 因が絡む物価上昇により、本市 急速な円安などのさまざまな要 ロシアによるウクライナ侵攻

る動向についてじゅうぶん注視 法人や個人事業主の業績 の税収への影響を見定めるため、 度当初予算編成に向けて、今後 ですので、補正予算や令和五 していきたいと考えています。 税収は市の基幹的 に関 な す

避難 な施 た場合は、 いため、そうした状況を把握し について、 の緊急的な宿泊提供などの 設は県内に設置されていな 的 在 隔 陽性でない 陽性者本人の希望な 離生活を送れるよう 見解を伺います。 感染予防のため

などの支援を行っています。 感染防止に特化した技術的助言 資の共用を避けるなど、 す場合は、 共用部分の消毒や物 家庭内

状況を伺います。 改善に向けた具体策を検討する とのことでしたが、 は、本市のラスパイレス指数の〈問〉令和四年第二回定例会で ラスパイレス指数の改善 現在の進捗

して 検討したいと考えてい 答 答 値の おり、今後その結果を踏 現在他都市の状況 本市における具体策 高 い都市の給与制度を います。 を照 ま 会



市民フォーラム 和

症などの世帯内での感染におい 問問 感染予防のための緊急的支援 新型コロナウイルス感染

大澤 智之



問 災害時の要支援者の登録状況 災害時に自力での避難

して必要な修正を行うととも

果を生

治会などによる見守り

どに基づいて宿泊療養施設への 方が緊急 また、 難しい市民が地 域の助 前橋市 け合いに

窓口で避難行動要

生委員の皆さんの協力などによ 録者は千二人です。 て登録を推進しています。 簿への登録状況を伺い 難行動要支援者制度に基づく名 よって安全に避難するための避 地域内の必要な市民に対し 令和四年七月末時点の登 自治会や民 ます。

重ねています。 いては、 〈答〉名簿への登録の拡 支援計画の作成が必要と思われ の登録者以外にも、災害時の避 については、 ますが、今後の対応を伺います。 **充とともに、実効性のある個別** と考えられ、名簿への登録の拡 難行動に不安のある市民がいる 問〉避難行動要支援者名簿 実効性のある支援計画作成を いる要支援 現在関係部署と協 着の 係機関 また、 個別 充に

より となるよう 区 実効 防 災 性 計 取 0) 画 高い 組 کے を 0 進 個別支援計 連 め .)動 います。 を 図 り 画



中里党市





には、 た事 億円の交付金を活用し で予定し 込みより執行率が低かった場合 でした。 年間における新型コロナウイル 金の活用状況について伺います。 ス感染症対応地方創生臨時交付 (答) 二年間で交付金を活用し 業費の総額は約七十五億円 方創生臨時交付金活用状況 令和二年、 結果、二年間 他 実施し ていた交付金全額を活 の事業に活用すること た事業の中で見 令和三年の一 で約四十八 まし た。

今後の地域活動

動にも及び、 の考え方に けられてよい時期に来ていると ことや、 感じますが たうえで行 っています。 施 開 ウ 17 が継 したうえで、 できなくなることを心配し コロナ禍の影響は 域 承 地 0) 域独 できず、 ついて伺い 事開催へと意識が向 絆 感染対策を実施. 地域力の減退に陥 本 当局の認識と今後 角の が弱まっ 的 な感 積極的に 活動の 今後活動が ます。 染対策を ている 地 に元気 シノウ 域活

> コロナ禍前の地域活動の様子 援の 在庫

てほしいと考えていま で笑顔あふれる地域活 本市のマイナポイント付与 ふす。 動 を 行

ます でしたが、 うえで、自治体独自のマイナポ 積極的に検討を進めるとのこと イントの付与を提案したところ、 ト付与の事業概要について伺 ル田園都市国家構想を推進する 問 全国をリードするデジタ 前橋市独自のポイン

率の 低調 国平均の四六・三%と比 二十九歳以下のマイナンバー ント事業の対象は二十九歳以 に限定して実施します。 答 (施を目指 ド交付率は三五・五%で、 底上げを図りたいと考えて であり若年層 本市の自治体マイナポ して います。 0) 力] ド 較 本 取 L 市 得 7 全 力 O下



高橋 照代



鼠 市 内事業者の事業拡張支援 本市の経済発展に寄与し

> 適地の 援していきたいと考えてい 際はさまざまな方法を検討し支 況を把握したいと思 と考えますが、 てきた市内事業者の事 ため、 新たな産業団地を分譲する が 市 ない 実態調査を行 が いため、 所有する産 具体的な取組が必 見解を伺います 民有物件産業 17 17 います。 物件の状 定業用地 事業拡張. ま す。 更

三歳未満児の保育量

につい おける受け入れ年齢の引き下げ要ですが、全ての公立保育所に社、清里地区は早急な対応が必 保育量が不足している東、 ないことが考えられます。 て低く、保育ニーズに合ってい 所率は私立保育園などと比較. 足傾向ですが、公立保育所の入 問〉三歳未満児の保育量 て、 見解を伺 い ます。 元特総に は 不

児の とは難しいと考えてい 児保育に 考えてい 里保育所で三歳未満児保育の が可 0 施 配 保 利根 設で新たに受け入れるこ 慮が必要であるため、 能か検討していきたいと 育ニーズが高いため、 は、 ま 西地区では一、二歳 らす。 面積の確保や安全 また、 っ ます。 一歳未満 現 実 清

!所の施設更

充実させるために、 安心な保育環境 施設更新 を

令和

ます 的 ながら、 検討する時期に来ていると考え な保育ニー が、 的に 見解を伺い 公立保育所の 進 めるととも ズの 減少 ます。 ĺ 統廃合を を見据え 将

保育 がら、 要があると考えてい を総合的 求められる役割や機能を考えな (答) これからの公立保育 の改修などを行っていく必 所 保育ニー 0 に考慮したうえで公立 再 整 備 ズの充足度など 0 方針を定め、 所に



日本共産党市第



近 好枝

カー 備 の

サ

ツ

設するという真逆の方針ではな が厳しいと公有施設の縮減を強 経緯②事業スキー いでしょうか。 力に進めながら、 債の軽減につながります。 てきた公有地で、 する計画です。ローズタウンは、 群馬のホームグラウンドを整備 用地を貸し付け、 負債解消の 問 したのかに 市は 売却に向けてカインズと ローズタウンの ため売却を基 つい 1 公有施設を新 ザスパクサ ムを検討する 整備を決めた 売却すれば負 て伺います。 本にし 財政 未

総括



思いますが、

見解を伺います。

状の全数把握を維持するべきと

察などを行うために、

独自 や健

に 康

現 観

感染動向の把握

会社 を市 と 業費を企業版ふるさと納税 と を う手法になってい カー 有 し ムでは、 始 施 納 を含め サ が負担し し ました。 めまし 設 税 馬 カインズか ます 興の ツ 場とするため、 整 制 0) カー 備 度 練 が、 ため、 た総額十八億円の 市 た②今回の 0) を活用したサッカー 習 市は土 ない 場整備以外に 民 提 環 施設の 2利用も 5 案を受け、 境 ます。 独立運営型と 企業版ふるさ \hat{O} 一地と建物を 充実とスポ ザ 運営経費 公の施設 できるサ 事 Ź 事業スキ パ 現金 クサ 協議 事

は、 に基 の他の後援の有無は、 市長面談は全て断りました。そ の表敬訪問を求められましたが 団体のイベントの後援について しています。旧統一教会や関連 群馬で訪問した関連団体を歓迎 グイベントのピースロードーn と考えますが、見解を伺います。 そちらを注視していきます。 問 旧 一切の関係を断ち切るべき 統一 直ちに実態調査が必要であ |づき対応していきますので ピースロードから市長 本市においてサイクリ や県の正式な事務連 教会問題 現在可

ていきたいと考えます。

として説明ができる対応を行っ

な範囲で調査をしており、

行政

能



日本共産党市議団 直 弘

情報保護法が施行されると、 人が特定できないよう匿名加工 鼠 た情報は、 匿名加工情報の作成 令和五年四月に改正個 本人の許諾なしに 本

緩和策に反対の声を上げるとと

ると決めました。

市は国や県に

などに限定する緩和策を実施す

ス感染症の発生届を出す対象を、

政

(府は新型コロナウイル

届

の全数把握の

総続

長谷川薫

六十五歳以上や入院を要する人

要と思い から市民を守る独自の規制が必 や予測をするプロファイリング 罰則はありません。本人の特定 することを禁止していますが 情報と組み合わせて本人を特定 法律では、 ため、匿名化は市がすべきです 能ですが情報漏洩が危惧される 匿名化の作業は、 外部提供できるようになりま ますが、いかがですか 匿名加工情報を他 外部委託が す

者が してい とが重要であると考えています。 法に沿った適切な対応を図るこ 匿名加工 集は行わない予定です。 は匿名加工 れており、本市でも当該期間 提案募集は当面の間、 地方自治体は、 答 答 関 法律違反を行った場 安全管理措置について研 なっており、 する情報の収集に努める 県や政令指定都市以外の 玉 きます。 の委員会に報告するこ 情報の作成手法や技術 情報の作成や提案募 また、 匿名加工情報の 個人情報保護 任意とさ 当該事 今後も 合 は 業 究 中



岡田 まほろば



ット . の 同行避難

観点のみならず飼い主である被 難という考え方は、 問 災害時のペット 動物愛護 の 同 行 の 澼

> の避難 ジで周知し ほか、 け に行えるよう、 ジやキャリーバ るため、 を持って飼 く必要があ を理解してもらうため、 自家用車の車内で飼い いて指定され 0 とになるの くの避難者が共同 な人やアレ 災者の心 を与えます。 同行避難への が補助犬を除き、 \mathcal{O} 重 餌 要性 者にもペット や排泄 餇 の 所 ルギー ケアに りま てい 養することとしてい で、 11 では、 た専用スペースや 主 対応を伺 本市での 、ます。 ふす。 。 物の ックを持参する に対してはケー いてホームペ 環境を整えてい 日頃からのし 各避 生 0) も 0) 管理を適切 盲導犬など 活を送るこ 人を含む多 物 同行避難 主が責任 難所にお ペットの 要 防災訓 が苦手 ます。 な影響 つ



アーツ前

まほろば 雅

練を通じて啓発に努め

7

ζJ

ます。



が、 今後の活動に大きく影響します どのような館 また、 的な雇用と人材育成が必要です 豊富な経験を持つ学芸員の継続 業を行うために専門的な技術や 問〉アーツ前 ①学芸員の採用や人材育成 特別館長の募集が始まり、 長が就任するかが 橋が充 実 L た

総括質問

考方法につい 特 別館 長 に対する て 伺 ま 考え方と す。 選

てい

、ます。

者

のじ

ゆ 討 が

うぶ

h 8 強

会などを行

いな 7

が

5 せ

検 h

を

進

5

ラ示され

1

ま

勉

が期 を 館 に 務 始 に 書面審 査を経て決定する予定です。 で 覧 行 長 向 部 ſλ 付 め お 学芸員 す。 会などを行うことが主な職 いながら美 は け と な 0) 7 け 専 7 調 ζJ 職 1 る 公募に 研 查、二次審查 門 準 整 な 員 ま 講 修 す。 13 的 備 を ど で 習 ľ 対 な 図 0) あ 実 術品 会の 学芸員 する 知識 課題 より、一 7 つ ることや 施 心などの 67 7 の収集管理、 指導、 、ます 確 P お を 意識し り、 全員 で面接の 経 保 一次審査 **一験によ** 9 ②特別 統 取 P 助言 採用 括職 が任 組 総 を

> 動が と予 などの 指導体 校か な確 きたいと考えて しています②指 段 想され 階 止 5 保や学校と地 出まらな 境が 切り 的に地 環 制 境 \mathcal{O} パます。 整 離 が整 構 った部 域移行を進 いように 築 すと混乱 など課 1 わないうちに 導 、ます。 生徒 者 域 Þ 活 Oたちの する 活 題 が 貫 動 め 地 起 は きる ため 場 7 域 Щ し か 活 学 所積た



中星林





部 地域移行の現状と課

いっぱい、 り残さないよう、 移行する方針が国から出されま 移行となる 鼠 分析② より三年かけて段階的に地域 やら すことに 学校の記 いで な 教 先 ために **ब** い 員は休日の 生も生徒も不安感で 部 つ ح 活動を いう方 い 生徒を誰 公平に公正な て (1) 伺 現状と課題 令 向性を打 部活動指 和五 ま 人取 す。 年



彰



います。伝統あるい状況にならない 梨の 島梨は ドを守り、 足などでブランドの維と思いますが、近年の 必要があると感じ 果樹の一つだと認識してい 前橋から現在の三重県や岡 から栽培が続く本市を代 されている大島梨は、江戸 問 栽培技術を指導するなど、 伝統ある大島梨の が維持や 赤城の恵ブランドに認 一つの伝統文化と言える 伝統ある大島 育成 未 来 の取組 へつつな 近年の後継 いかと懸念し ま 維持と育成 すが、 いでい 梨ブラン 持が厳し 2表する つ ます 者不 . 時 い Ш 大 < 県 証

規 参入 者 0) 受け 入 れ P

ます。

)具体

的

な

方

は

梨の 進 け ル 7 め、 持 た] 家 ζJ 発展 伝 取 卜 ま 0 技 す。 0 統 ブランド力を有 組 育 術 会目 を関 成 確 を 0 守り、 保や市 併せ と経営安定 導 入支援 指 係機関と連携 らて、 L て 産地 場 など、 11 \mathcal{O} 多 開 きます としての した大島 様 を推 拓に向 な して 販 栽 進



なない



問

ま

ち

策の実施が重要だと考えま の導入②赤城観光と連携した施として、①キャッシュレス決済(問)上毛電鉄の利用活性対策 <mark>〈問〉上毛電鉄の利用活性は</mark>上毛電鉄の利用活性対策 入 澤 繭 子 す

ちを印

の

ます。 県及び 択され、 ② 自 決済 と自 ル 袁 答 の構 0) 0) 光 卜 都 向 車 補 を レ 転 0) 市 ①令和四年度デジ 促 沿 導入につい 両 車 インを導入し、 車ごと乗車 築を行うこととなって 玉 け 助 0) こうし 0 P を 線自治体と検討 群馬版M 家構想推進交付 などを行うこととな 事 進 組み 中でキャッシュレ 業を活用し、 企 し 車 画 てい |庫を活 た取 合わせた赤城 ゃ て、 オリ aaSシス ま 可 能 す。 上 ,ジナル を赤城 上毛電: なサイ 用した観 毛 上毛 タ しま 金 また、 電 ル が 鉄 山鉄 す ス テ ク \blacksquare 61

> や 沿 でいきたいと考えてい لح 線 結 自 治 び 体 付 نح け 連 5 携 れ L るよう、 て取り ます 組県

売



岡 新 根 正





な か の か レ ات ン あ ガ るレ ン ガ

いになるのにレンガ倉庫 のことで、 指定の文化財の調査まで幅広く 感じます。 栄えた前橋の歴史を伝え、 などの 置づけられているようです。 秋頃に国 郷土愛を育む重要な要素だと 、歴史的拠点の整備から未とで、具体的な事業につい四年度内には策定されると まちな 象づけるもので、)歴史的 満 か伺い けはどの からの 歴史まちづくり計 倉庫を含め 建 ます。 ような取 造物はこの 認定を受け、 た 建 が扱 市民 造 が、 定 物 で ま

当局の見解を伺います

が

令和 収 頃

ては、

位

〈 答 〉 ŧ 口 に \mathcal{O} いつ 要件 的 短 0) 計 う 対 和 建 で レンガ て、 令 す 造 を 画 る 備 物 和 年 で 保全に たした歴史的 を に 支 度 五 位 進 に 年 援 適 置 は 度 用 制 づ 本格 から か け 度 7 かる費用 0) 7 きた 実 創設を今 1) 施 部 なくと 、ます。 でき 13 0 歴 لح な

議案の議決結果

7月臨時会及び第3回定例会に提出された議案の議決結果は次のとおりです。

○市長提出議案

※賛成・反対の双方があった案件は網掛けで表示しています。

O 115 Ex	" 佐山哉 え	
議案	件名	議決結果
第67号	令和4年度前橋市一般会計補正予算	可決(多数)
第68号	令和3年度前橋市一般会計決算認定について	認定(多数)
第69号	令和3年度前橋市国民健康保険特別会計決算認 定について	認定(多数)
第70号	令和3年度前橋市後期高齢者医療特別会計決算 認定について	認定(多数)
第71号	令和3年度前橋市競輪特別会計決算認定について	認定(多数)
第72号	令和3年度前橋市農業集落排水事業特別会計決 算認定について	認定(全員)
第73号	令和3年度前橋市介護保険特別会計決算認定について	認定(多数)
第74号	令和3年度前橋市母子父子寡婦福祉資金貸付金 特別会計決算認定について	認定(全員)
第75号	令和3年度前橋市新エネルギー発電事業特別会 計決算認定について	認定(全員)
第76号	令和3年度前橋市用地先行取得事業特別会計決 算認定について	認定(多数)
第77号	令和3年度前橋市産業立地推進事業特別会計決 算認定について	認定(多数)
第78号	令和3年度前橋市水道事業会計剰余金の処分及 び決算認定について	可決及び 認定 (多数)
第79号	令和3年度前橋市下水道事業会計剰余金の処分 及び決算認定について	可決及び 認定 (多数)
第80号	令和4年度前橋市一般会計補正予算	可決(多数)
第81号	令和4年度前橋市介護保険特別会計補正予算	可決(全員)
第82号	前橋市職員の定年等に関する条例の改正につい て	可決(全員)
第83号	前橋市一般職の職員の給与に関する条例の改正 について	可決(全員)
第84号	前橋市職員の退職手当に関する条例の改正について	可決(全員)
第85号	地方公務員法の改正に伴う関係条例の整備に関 する条例の制定について	可決(全員)
第86号	前橋市職員の育児休業等に関する条例の改正に ついて	可決(全員)

議案	件名	議決結果
第87号	前橋市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に 関する条例の改正について	可決(全員)
第88号	前橋市長期優良住宅の普及の促進に関する法律 関係手数料条例の改正について	可決(全員)
第89号	前橋市営住宅管理条例の改正について	可決(全員)
第90号	前橋市アーバンデザイン基金条例の制定について	可決(全員)
第91号	工事請負契約の締結について((仮称)福祉作業所 新築建築工事)	可決(全員)
第92号	工事請負契約の締結について((仮称)夜間急病診 療所新築建築工事)	可決(多数)
第93号	物品の購入について(救助工作車)	可決(全員)
第94号	物品の購入について(水槽付消防ポンプ自動車)	可決(全員)
第95号	物品の購入について(消防ポンプ自動車ぎ装)	可決(全員)
第96号	物品の購入について(大型液晶ディスプレイ以下3件)	可決(全員)
第97号	財産の無償貸付けについて(ローズタウンF地区北の一部)	可決(多数)
第98号	公平委員会の委員の選任について〈千原 好子 氏〉	同意(全員)
第99号	人権擁護委員の候補者の推薦について〈田子 智代 氏〉	同意(全員)
第100号	人権擁護委員の候補者の推薦について〈小渕 喜代治 氏〉	同意(全員)
第101号	人権擁護委員の候補者の推薦について〈藤井 久代 氏〉	同意(全員)
第102号	人権擁護委員の候補者の推薦について〈宮下 雅夫 氏〉	同意(全員)
第103号	人権擁護委員の候補者の推薦について〈小暮 正子 氏〉	同意(全員)
第104号	人権擁護委員の候補者の推薦について〈増田 智之 氏〉	同意(全員)
第105号	人権擁護委員の候補者の推薦について〈山口 智子 氏〉	同意(全員)
第106号	令和4年度前橋市一般会計補正予算	可決(全員)
報告	件名	議決結果
第7号	交通事故に係る損害賠償の額の決定の専決処分について	承認(全員)

〇議会議案

議案	件名	議決結果
第1号	前橋市議会会議規則の改正について	可決(全員)
第2号	前橋市議会傍聴規則の改正について	可決(全員)

賛 否 の 公 表

賛成・反対の双方があった議案について表示します。(○賛成、●反対)

	前橋令明									前橋高志会市民フォ						フォーラム 共産党					;		公明	月党		ま		七	え	赤	な							
会派名議員名	阿部	鈴木		一智	林	横山	新井	鈴木	豊島	小渕	小岩井	市村	佐藤	笠原	富田田	金井	小曽畑	近藤	窪田	山田	角田	三森	大澤	宮崎炎	長谷川	近藤	小林	富	中里	石塚	新井美	高橋	浅井	岡田	中林	藤江	岡	入澤
議案番号	忠幸	俊司	波志芽	博史	幸一	勝彦	美加	数成	孝男	— 明	療太	均光	祥 平	久	公隆	清一	英			秀明	修一	和也	智之	紀子	薫	好 枝	久 子	直弘	武	武	文 咲 子	照代	雅彦	修一	章	彰	正己	繭子
第67号	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	0	0	/	0	0	0	0	0	0	0	•	•	•	•	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0
第68号、第69号 第70号、第71号 第73号、第76号 第77号、第78号 第79号、第80号 第92号、第97号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	0	0	0	0	0	0	0	•	•	•	•	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

^{*}議長は議決に加わらないため「/」で、欠席議員は「一」で表示しています。

^{*}会派名:共産党(日本共産党前橋市議会議員団)、公明党(公明党前橋市議会議員団)、ま(まほろば)、七(七星)、え(えいめい)、赤(赤利根)、な(なないろ)

意

見

書

次のと どに提出 匹 お 件を可決し、 ij 定例会では、 まし ぞす 要旨 国会な 意見 は

次 自症 拡 な 症 O 対策に 0) 負 治 対 充 新 新 を 担 体 策 型 求め 項 O0) コ 係る を国に強く要請 行 長 口 生じ ナ る意見書 ナ 財 期 クイ クウイ 化に 玉 政 てい 運 庫 岸 負 担 等 伴 ル ル るため、 ス感染 に膨 ス 11 感 地 大 方 染 ഗ

方 5 上 る 々 じ なる拡充などの げ 0) (1)ること② 国 感 ること 染症 0) 庫 対 負 応 担 発 3 発 生 0) 0) 症 ため が手に入る 割 動 状 合を引 追 外 向 0) 来の 加 調 査 事

の 0 推 交 通 I 安 関 する 施設等整備 事業

決

つ

た

が

施

 \mathcal{O}

事

情

な

患

者

負

担

 \mathcal{O}

増

12

つ

な

が

で ま

在

が

で

き

ず

iz

7 ま

で 置 て か 公 所 全 Oも、 ŧ 表 あ わ は 玉 危 る。 し 進 5 七 育 0 険 交通 万六 h ず 委 7 通 察 箇 などに 員 で 11 学 所 る。 量 千 信 ιJ 号 が 应 な 0) 検 による通 学校、 機 多 百 妆 本 などの 市 远 策 0 必 に か が 介では、 も お 要箇 学路 所 Р 状 بخ Т か 65

号 を ま 故 と る 滑 環 Oた た 機 L O境 推 交 化 め 通 は 防 て、 進 な に \mathcal{O} 補 資 止 改 に 安 費 全 助 0) す を 善 道 関 用 設置 <u>路</u>に 図 を す 施 ることと に を ょ り Ź 設 玉 皇等を実 1) お 法 等 が 交通 設 け 律 整 負 る 交通 置 備 \mathcal{O} 担 促 交通 目 \mathcal{O} 事 Ų 信 円 的 進 す 事 業

> 0 強

い

た保険

証

页

利

用

担

減

備 守 \mathcal{O} 17 11 交 < 等 る 図 通 必 た を つ 安 要 め 7 全 が 層 O11 強く 対 あ 強 交 る 策予 る 力 通 ため iz 安 守 全 算 推 れ 施 る命 拡 進 充に して 道路 設 整 を

どで

処

方

箋

な

し

に

購 ス

んでき アな

す

るとともに

康 入

フ

オ

薬

局

ド

ラ

ツ

グ

 \vdash

療

体

制

支

す

正

さ

れ

限

0

法

が

て、

0

あ

る

方

々

心

とした

を

ささら

に

強

す

ること(4)

高 制

の 児

充

を

求

者

お 化 来

け

る

体

童

養

施

設 め

で育 る意見

つ

Þ

リス

5

自

口

P

ツ

セ

夕

] 健

を整備

7

国

12

請

する。

介自己

検

査

体

0 つ

施設

退 要

所後の支

よう

査

キッ

· を 〇

T C 化

で

ŧ

検

査

キッ

卜

め、 など 支 相 O退 に 施 5 援 立 援 う 談 優 付 所 社 策 0) 児 を 民 就 で 先 P 後 会 7 0 迫 を 講 間 き 利 職 退 Ŋ 充 童 職 0 5 席 K 定実を行る 業教 じ る 養 企 活 用などの 新生活支度 所 定 護 動 ア る 業 g 着 育、 施 フ る若者が早 ベ が できる Ź うよ き 0) 円 に児童養 設 支援 充が 支 公営住宅 退 滑 で 及金等の 人援施 う ケア 所 に ょ 充 求 進 玉 後 る ³ う、 護 事 · 急 策 8 支 自

マ < 1 要 ナン 請 す バ T 力 ı K を

1 と 診 証 ょ 際 医 対 下 13 うに バ は Þ 療 応 ょ 入に 診 機 シ り 和 ス 療 関 兀 匹 力 ょ つ 報 P テ 1 月 年 保 ŋ 酬 薬 4 K 度 険 患 を 日 診 が 局 0 \mathcal{O} 証 者自 確 導 保 か 加 を マ 療 算 5 利 1 入 追 険 報 さ 済 身 ナ 用 証 マ 酬 · う。) 保 が 加 1) 医 れ 7 イ 改 以 ま 健 険 る た \mathcal{O}

> 用 11 0) る メ た 知 ij め ッ 1 報 マ に 0) 1 つ ナ 保 組 11

て丁 険

証 7

を

向 る つ 8 け 11 る とと た 7 さ 取 5 **t**) を国 な 12 る に 負 加 担 算 措 軽

減 求

置

●傍聴は、本会議開催日に新議会庁舎7 階で受け付け ます。

- ●傍聴席は一般席、報道関係者席、親子席に分かれて います。
- -般席及び報道関係者席の傍聴人の定員は75人 (車椅子席の定員3人を含む)です。
- ●親子席の定員は7人です。 ※傍聴は先着順になります。





本会議を新しい議場で傍聴しませんか

を

求

め

る

次回定例会日程(予定)のお知らせ

11月29日(火)	本会議(初日)
12月 6 日(火)	
12月7日(水)	本会議(総括質問)
12月8日(木)	
12月15日(木)	本会議(最終日)

(日程は変更になる場合があります。)

手話通訳を希望される場合は、傍聴希 望日の5日前までにFAXかメールで申 込書をお送りください。(申込書はHPに 掲載)

発熱などで体調がすぐれない方は傍聴 をご遠慮いただき、インターネット中継 をご視聴いただくようにお願いいたしま す。



-市議会定例会の日程